令和３年度

第７ブロック研修会報告

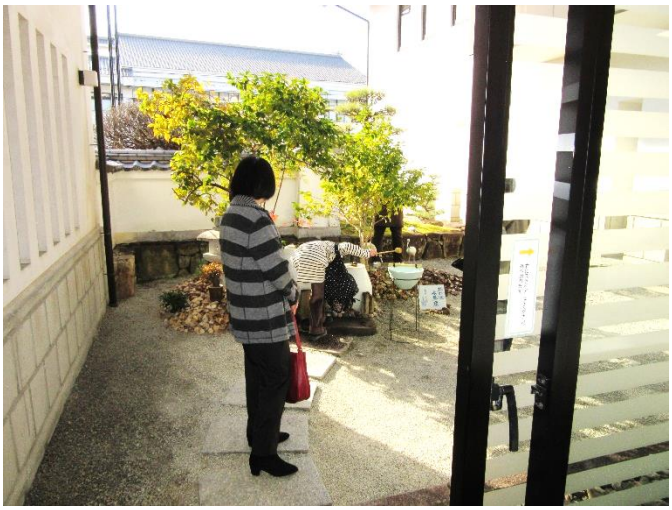
第７ブロック理事　森田　悦雄

令和３年 12 月 11 日（土）に第７ブロック研修会を砥部町にある「砥部焼伝統産業会館」「坂村真民記念館」「砥部むかしのくらし館」に於いて開催することができました。参加者は 18 名（現職４名、ＯＢ14 名）で、自己紹介を行った後、砥部焼産業会館館長さんより砥部焼の歴史、展示物や窯元・陶工の説明を受けながら館内の見学を行いました。その後、館内で砥部焼の購入、水琴窟を楽しんだり、館外の聖火台のモニュメントの見学を経て、坂村真民記念館へ移動し、各自で展示物やビデオ映像の見学を行ったり、詩集を手にしたり、好みの雑誌を購入したりと各自が研修を深めることができました。「愛媛産には、愛がある。」のキャッチフレーズが真民さんの書であることを発見して喜んでいた参加者もいて、嬉しくなる一時でした。

次の訪問場所である砥部むかしのくらし館は、砥部最古の窯元「梅山窯」の商いの中心で、大正年間に現在の場所に商家と蔵が建てられました。後に梅野家より豊島家に嫁いだ松子さんが豊島医院を開きます。その梅野家と豊島家により集められた民具や美術品が収蔵展示されています。関係者の説明を聞きながら、昭和の昔へタイムスリップし懐かしい空気に包まれました。

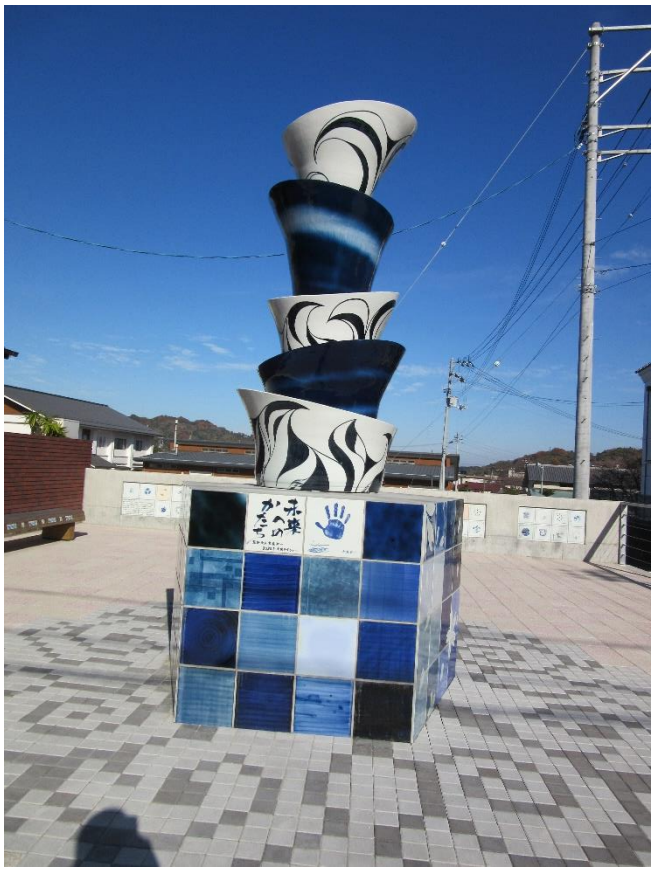
新型コロナの隙間の開催でしたが、会話を楽しんだり新しい発見に感動したりと楽しい一時が過ごせたことに感謝いたします。関係者の皆さん有難うございました。

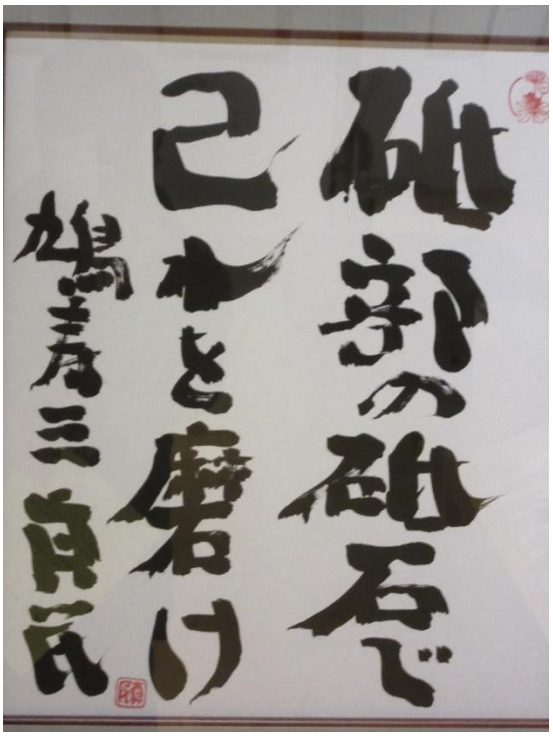
砥部焼伝統産業会館での館長説明・館内見学



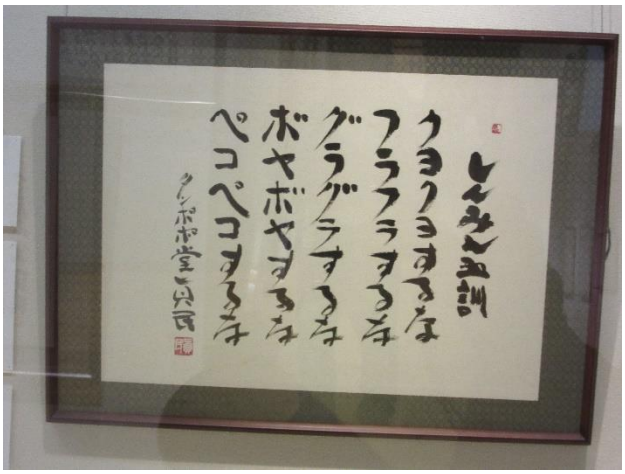
水琴窟を楽しむ

映画「未来のかたち」に登場する砥部焼の聖火台モニュメント





坂村真民記念館での見学風景と展示物



砥部むかしのくらし館での見学風景